

この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終る2015年3月までの期間限定で使用できます。

# CASBEE 新築[簡易版]

使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版Ver.2 (BPI/BEI対応) 使用評価ソフト: CASBEE-Ncb\_2010bpi&bei(v.2.0)

## 評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	C棟	階数	地上3F
建設地	小田原市寿町五丁目510番1	構造	S造
用途地域	工業地域、法22条区域、第5種高度地区	平均居住人員	100人
気候区分		年間使用時間	1,920時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年2月 予定	評価の実施日	2014年4月14日
敷地面積	4,603 m <sup>2</sup>	作成者	三井住友建設株式会社一級建築士事務所
建築面積	4,106 m <sup>2</sup>	確認日	2014年4月14日
延床面積	9,389 m <sup>2</sup>	確認者	三井住友建設株式会社一級建築士事務所



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0**

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.5**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.8

**LR のスコア = 3.5**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		その他
<b>総合</b> 化粧品工場として、GMPを考慮した計画、危険物製造所として法的要件を満たす計画としている。		なし。
<b>Q1 室内環境</b> 化粧品GMPを考慮し、湿度調整、空調換気設備を計画している。衛生区分によりクラス1万、クラス10万と区分している。一般諸室は、一般事務所以外の空調・換気条件を満たす設備としている。	<b>Q2 サービス性能</b> 化粧品工場として、機能性、快適性、維持管理、耐用性、更新性を確保した計画としている。製造機器の搬入・更新を考慮し、マシンリフトを設置、製造室天井内にキャットウォークを設置する計画としている。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 敷地内既存樹木を生かして、生物環境、まちなみ保全を、可能な限り確保した計画としている。地域性へ配慮し、建物高さに配慮した計画としている。
<b>LR1 エネルギー</b> 建物の熱負荷、自然エネルギーの利用、設備高効率化に対しては、化粧品GMPを考慮した結果、ERR値1.05を取得している。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 化粧品GMPを考慮し、節水等の利用等により、可能な限り水資源等へ配慮した計画としている。	<b>LR3 敷地外環境</b> 化粧品工場として、可能な限り、周辺環境へ配慮を行った計画としている。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)

「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される